



夏の様々な経験を通してたくましくなった子どもたち。まだまだ続く暑さの中で、涼しい時間帯にはお散歩や外遊びを楽しんでいます。そろそろ夏の疲れが出るころです。少しずつ生活リズムを整えながら、運動会に向けて体力づくりをしていきましょう！！



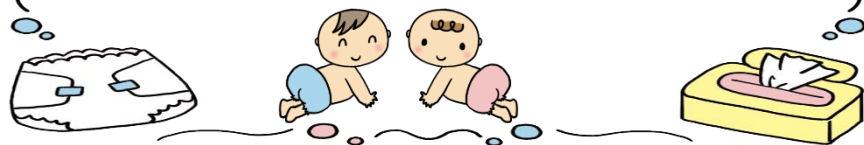
防災週間(8月30日～9月5日)

9月1日は「防災の日」です。もしものときに備え、リュックに**非常時の持ち物を準備**しておきましょう。また、お子さまにも**火事や地震が起こった**
らどのように行動すべきか、**避難場所**はどこか、
その**経路**、家族とはぐれたときの**待ち合わせ場所**
や連絡方法など、日頃から繰り返し話し、
確認しておきましょう。



おむつかぶれ

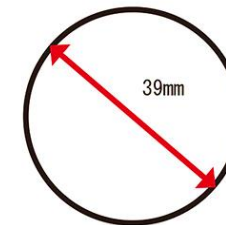
おむつが直接あたる部分が炎症を起こした状態のことを言い、湿気や汗、カビ、サイズの合わないおむつの摩擦による刺激など、複数の要素が重なって起こります。なかでも一番の原因は、乳児特有の水っぽい便や尿で、肌に長時間付着すると、かぶれた状態になります。こまめなおむつ替えをして清潔に保つのが一番の予防法です。かぶれてしまったら、患部に強い刺激を与えず、汚れをぬるま湯で洗い流し、柔らかいタオルで優しく拭き取り、適切な軟膏を塗りましょう。



家の中の事故を防ぎましょう

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、じつは事故の危険の高い場所だということをご存じでしょうか？ **0～6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。**

家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命にかかわるのが、窒息です。0歳児が圧倒的に多いものの、1歳児、2歳児でもゼロではありません。家の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェックしてください。



小さいものはしっかり管理

3歳の子どもの口の大きさは約4cm。これより小さなものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。ボタン電池、ナッツ類、たばこ、薬など、身近なものでも飲み込むと危険なものはたくさんあります。

リビングなど



ソファやベビーベッドから落ちたり、たばこを飲み込んだりといった事故がよくあります。

キッチン



炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所。

浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離したすきにおぼれるなど、水の事故の危険があります。

ベランダ



台などによって手すりを越える事故が、3歳以降急増します。危険なものがないかチェックしましょう。

安全計画

今月の安全計画は『地震・津波災害対策』です。地震・津波の際の避難方法を子どもたちと確認し、避難訓練を行います。火災避難訓練は【調理室からの出火】を想定して行う予定です。